


低病原性鳥インフルエンザウイルスが今シーズン初めて野鳥の糞便から検出されました



愛媛県で採取された野鳥の糞便からH7亜型の低病原性鳥インフルエンザウイルス検出(11/19)

鳥インフルエンザウイルスの侵入リスクが高まっていると考えられます

◆各養鶏農場におきましては、引き続き飼養衛生管理基準、特に次の対策をお願いします。

- ①鶏舎内への野生鳥獣侵入経路の閉鎖
- ②鶏舎及び農場敷地内の野生鳥獣が隠れて生息可能な場所の整理整頓
- ③鶏舎に隣接する樹枝の剪定や草むらの除草
- ④鶏舎専用の衣類、長靴の準備
- ⑤鶏舎出入り時の衣類、長靴、手指の確実な消毒

◆異常を認めた場合は家畜保健衛生所へ連絡してください。